

ビタミンBook

発行：笠田高等学校図書館



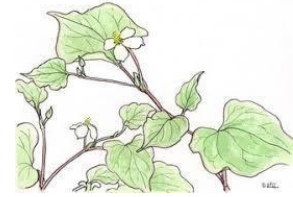
5号



2020.6

梅雨に入り、じめじめと蒸し暑く気分がすぐれない季節です。

さて、今の時期、紫陽花が雨に濡れて、艶やかに咲いているのをよく見かけますが、「どくだみ(十葉・重葉)」の花もひっそりと咲いています。葉や茎は独特なおいがありますが、花はとても可憐です。花弁と見える白いのは「苞」で、花はその真ん中にある黄色い穂となっている部分です。「どくだみ」は「十葉・重葉」といわれるように、さまざまな活用がされています。興味のある人は、ぜひ読んでみてください。



第66回青少年読書感想文コンクール

課題図書

『身近な薬草活用手帖 100種類の見分け方・採取法・利用法』

寺林進(監修) 誠文堂新光社

『新版図解 四季の薬草利用』小林正夫(著)農文協

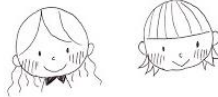
『大地の薬箱 食べる薬草事典 春夏秋冬・身近な草木 75種』

村上光太郎(著)農文協

紹介します。

4月に着任された

数学科 有田啓介先生が薦める本です。



『キャパとゲルダ』

マーク・アロンソン&マリケ・ブトーズ(著)

キャパはゲルダに写真を教え、ゲルダはキャパを戦場カメラマンとしてプロデュースした。

【740.253】

『廉太郎ノオト』

谷津矢車(著)

西洋音楽を響かせることを夢みて、明治時代を駆け抜けた天才音楽家・滝廉太郎の青春小説

【913.6】

『フラミンゴボーイ』

マイケル・モーパール(著)

フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年と少女の物語

【933.7】

書名:『ノルウェイの森』

著者名:村上春樹 出版社:講談社

泣ける度★ 為になる度★★★★ 恐怖度★

癒やされ度★★ 文学度★★★

あらすじ: 東京の大学に進学した「僕」は、そこで幼馴染みの「直子」と再会し、次第に彼女を好きになっていきます。一方「僕」は大学で「緑」とも出会うが…。

おすすめコメント: 私がもっとも好きな本です。ストーリーは恋愛小説ですが、音楽、文学、生と死などいろいろなテーマが散りばめられており、多くのことをこの本から学びました。高校生、大学生にオススメの1冊です。



新しい本の紹介



改訂増補版

読書がさらに楽しくなる

ブッククラブ

～読書会より面白く、人とつながる学びの深さ～

吉田新一郎(著)

【015.6】

算数だけで統計学!

石井俊全(著)

算数だけで解説するか

らといって、「統計学」の

内容が簡単になるわ

けではありません。

【417】

松本清張が「砂の器」を書

くまで

～ベストセラーと新聞小説

の一九五〇年代～

山本幸正(著) 【913.6】



ヘミングウェイで学ぶ英文法

倉林秀男・河田英介(著)

文法をみっちり学ぶこと、小説を

楽しむことは、実はひとつである。

(帯より)【835】



図説

デザートの世界

ジェリ・クインジオ(著)

【383.8】

チョコレートの世界

ソフィー・D・コウ(著)

【383.8】

食べて笑って歩いて好きになる

大人のごほうび台湾

山脇りに(著)

人気料理家が案内する美味なる台北

【292.24】

ヘミングウェイで学ぶ英文法2

倉林秀男・河田英介(著)

文法を手がかりに名作文学を味

わいつくす(帯より)【835】

クルマ1台で起業する

はじめよう! 移動販売

滝岡幸子(著) 【673.79】

データが読めると世界は

こんなにも面白い

～データブックオブ・ザ・ワールド入門～

データブック入門編集委員会(編)

【350.9】

2020 データブック

オブ・ザ・ワールド

～世界各国要覧と最新統計～

【350.9】

緒方貞子

戦争が終わらないこの世界で

小山靖史(著)

【289.1】



In NARA

悠久の歴史、やまとびとの心

井上博道(写真)/井上千鶴(文)

【748】



流星シネマ

吉田篤弘(著)

人生の季節は冬に向か

っているけれど、何度で

も再生し、何度でもやり

直せる。 【913.6】

ヴァイキングの暮らしと文化

レジス・ボワイエ(著)

【238.9】

ブッシュマンの民話

田中二郎(著)

【388.48】

荒廃する日本

これでいいのかジャンライフ・

インフラ

インフラ再生研究会(著)

【510.91】



あたしの拳が吼えるんだ

山本幸久(著)

ボクシングを始めた小学四年生の女の子を

中心に人々が織りなす、元気を満タンにして

くれるハートウォーミング・ストーリー。【913.6】

しめ飾り

鈴木安一郎/安藤健浩(著)

【387】

ほんとうのことは

人生と同じだけの 時間がかかるから

説明できないけれど

こうして生きていることは まちがいないので

それだけはほんとうです。

誰でも ほんとうのことは

自分しか知りませんでした。

『まるおし帳』 さくらももこ(著) 集英社

こんな本どうですか?

